

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (沖縄)	良くなる	ゴルフ場（経営者）	・マイナス要因は今のところ見当たらない。大変地異が無い限りは大丈夫だとみている。
		住宅販売会社（営業担当）	・請負工事に係る消費税適用税率の経過措置の指定日が平成28年10月1日になるため、商談件数増加からみても建築に対する需要の高まりを感じる。
	やや良くなる	コンビニ（経営者）	・景気の上向き感が感じられるようになって、財布のひもが少しずつ緩んできているように思える。
		衣料品専門店（経営者）	・今は暇になっているが、その分来月からは戻って来ると期待している。
		その他専門店〔楽器〕（経営者）	・売上は前年よりやや減少しているが、今年に入って若干売上や注文が増えてきた。商店街の通りには外国人が増え、周辺では建築も増えている。若干景気が良くなるような気配だけは感じる。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	・現時点の予約状況から推測できる今後2～3か月後の稼働率は、前年同月実績を上回る見込みである。旧正月期間の予約状況や、企業による報奨旅行等の団体宿泊予約が順調である。
		旅行代理店（マネージャー）	・ゴールデンウィークが大型連休を取りやすい日付になっているので期待している。
		その他のサービス〔レンタカー〕（営業担当）	・2～3月の予約状況が前年に比べて若干上回っている。那覇市内のホテルも外国人観光客を含め好調と聞いているので、観光入域客数も堅調に推移していると予測される。
	変わらない	一般小売店〔菓子〕	・特に大きな要素がない。
		百貨店（営業部）	・前年3月に食品売場を改装してから一巡するが、本年は紳士フロアの手直し等、改装計画が継続して行われ、免税売上の安定した売上を合わせ、前年はクリアできるものと予測しているが、大きな伸びにはならないと思われる。
スーパー（販売企画担当）		・納品業者からの情報でも、単価アップはまだ続く。しばらくは1点単価のアップが続くと考えられる。	
コンビニ（エリア担当）		・経営統合によるブランド転換のなかで、既存店の先細りはあるが、客単価は前年プラス2%で推移しており、コンビニとしての販売力は安定している。	
衣料品専門店（経営者）		・景気が良くなっている気配はあまり見えていない。気候のせい、季節商材の動きも良くなり、連日のセールでも商品があまり動かない状態が続いている。この先もまだまだ様子見ではないか。	
その他専門店〔書籍〕（店長）		・特に目立った変化は見られない。	
住宅販売会社（代表取締役）		・本土設計会社からの本土在住者のセカンドハウスや観光客向け宿泊施設の競合見積依頼などの予定もあるが、土地価格の高騰もあり戸建住宅の希望者には逆風となっており、景気は大きく変動しないと予想している。	
やや悪くなる	コンビニ（経営者）	・競合店の出店計画があり、やや悪くなると思われる。	
	通信会社（店長）	・総務省からの通達により過度な値引きができなくなり携帯端末の価格が上がるのが予想されるので、春商戦が終わる4月以降は動きが鈍ると思われる。	
悪くなる	商店街（代表者）	・商店街のエリアには、観光客は見学には来るが、買い渋りがある。特に婦人衣料等、衣料品関係は値段を落としても売れないという現状があるようだ。個人店では対応できない時代に来ているので、今後も厳しいと見込まれる。	
	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・仕入の値上がりや人手不足など、厳しい環境が続いているのと、来年の消費税増税の後は確実に売上が落ちるので、今からしっかりと準備しておかないといけない。	
企業動向 関連 (沖縄)	良くなる	-	-
	やや良くなる	建設業（経営者）	・見込み度の高い相談案件が増加傾向にある。
		輸送業（代表者）	・陸上自衛隊工事で活況を呈している与那国以外でも、石垣などで公共工事や民間工事向けの生コン生産が上向きつつある。
		輸送業（営業）	・建材、外食、コンビニなど既存客の取扱物量が増えていること、新規で県内に参入する客との取引が数社増える見込みがあり、それに伴い倉庫や車両、人員を増やす予定としている。
変わらない	食料品製造業（総務）	・県内経済は好調に推移していると思うが、一面では為替レート、株価、原油価格、中国経済の推移等々、動きが激しく個々人も慎重な消費行動になっているのではないかと。商品、製品も特売での安い価格時は良く動くが通常価格では鈍化する。	

	窯業・土石製品製造業（経営者）	・年度末に向け期待感はあるが、見通しとしては横ばいと予測している。
	広告代理店（営業担当）	・好調に推移する観光産業のなかでも特にインバウンドに対する期待が徐々に高まりつつあり、県内企業のなかでも積極的な販促投資を模索している企業もある。ただ、先行きを不安視する声もあり、どの程度の予算を投下するかは不明瞭である。
	やや悪くなる	-
	悪くなる	-
雇用 関連	良くなる	-
(沖縄)	やや良くなる	求人情報誌製作会社（営業担当） ・時期的にも多数業種が繁忙期を迎える事になる。 学校 [専門学校]（就職担当） ・気候変動や政治の動向等変化の多い年になりそうだが、景気回復を期待している。
	変わらない	求人情報誌製作会社（編集室） ・例年1月と比較すると2月は若干減る傾向にあるが、前年の2月は増加した。その推移が今年もみれるのか、占う意味でも2月の件数は注目したい。 学校 [大学]（就職担当） ・次年度卒の採用見込みが今年度と比較して増えるという話が企業側からはまだ聞こえてこない。むしろ今年度よりは少ない採用になりそうだという話を聞く。求人数が増えれば実感は上向きな方向に変わる。
	やや悪くなる	人材派遣会社（総務担当） ・正社員を希望する求職者が多いせいか、引き続き派遣者登録の動きが弱いと感じる。
	悪くなる	-